

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 井手町立泉ヶ丘中学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	泉ヶ丘中学校 全校生徒149人(1年52人、2年52人、3年45人)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (英語、保健体育、総合的な学習の時間、特別活動) ② 行事名 (特別支援学校との交流、姉妹校との交流) ③ その他 (国際交流・海外派遣事業) (2) 地域における活動 ① イベント名 () その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツを通して、スポーツの良さや障がいのある人への理解を深める。 ・障がいのある人と活動を共にすることで相互に人格と個性を尊重し、共生社会を作っていこうという姿勢を養う。 ・泉ヶ丘中学校国際交流・海外派遣事業を通して、スポーツ・文化についての理解を深める。
5 取組内容	①特別支援学校との交流に向けての事前指導 11月26日(木) ・特別支援学校の教員を招いて、交流内容の説明や配慮について各学級で話を聞いた。  ②特別支援学校との交流 12月3日(木)A組、12月4日(金)B組 ・特別支援学校の生徒と共に「ボッチャ」を通して交流を行った。  

	<p>③オーストラリア姉妹校との交流 10月～11月 全校生徒 ・姉妹校のペンフレンドと手紙やメールを交換し、交流を深めた。その過程で、海外（オーストラリア）のスポーツ・文化を調べ、ビデオメッセージを作成し姉妹校へ送った。</p> <p>④姉妹校からのビデオメッセージの視聴 11月13日（金）全校生徒 ・姉妹校から届いたビデオメッセージや贈り物（タペストリー）を全校生徒に紹介した。</p>  
<p>6主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒がパラスポーツに興味を持つことができた。また、ボッチャの経験がある生徒が複数いたことや、事前指導を丁寧に行っていたおかげで、当日は大きな混乱なく交流することができた。 ・特別支援学校生徒との交流を通して「合理的配慮」について深く考えるきっかけとなった。 ・姉妹校との交流を通して、日本の文化も含めたオーストラリアのスポーツ・文化の理解につながり、来年度の海外派遣に向けて生徒たちの意欲が高まった。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の教員の方の協力もあり、事前指導や前日の準備などが丁寧に行えた。 ・本町の事業である「泉ヶ丘中学校国際交流・海外派遣事業」と連携しながらほぼ一年を通して継続的に活動した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級の人数が多い場合に、コート数や用具数等、十分な準備が必要となる。今年度同様に、特別支援学校との事前打ち合わせを十分に行うことが必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の社会的情勢を見ながら、姉妹校との交流を継続していく必要がある。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降も、事前指導・交流・事後指導含めて今年度と同様の交流を継続していきたい。 ・オリンピック・パラリンピックの年度になることを活かし、姉妹校との交流を進めたい。